

大島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

主要品目である、ブバルディア、クチナシ等の生産振興のための試験研究を行う。

- (1) クチナシのポストハーベスト技術の開発では、硫酸アルミニウムと Tween20 とスクロースを組み合わせた前処理剤は、開花促進効果はあるが、萎れや黄化は防げないことが明らかとなった。クチナシの観賞期間を長くするには、水揚げの悪さを解決する必要がある。
- (2) 地域特産野菜等の病害虫の発生状況を調査した。2023 年春の幼虫発生密度は、利島において、ハスオビエダシャク・トビモンオオエダシャクともに横ばいであった。新島においてはハスオビエダシャクの発生は低密度を保っており、トビモンオオエダシャクの発生は減少した。